

平成15年度 分野チェックリスト

分野名	自律・教育分野	分野番号	5
分野担当部	教育委員会事務局	関連部	区民生活部

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指 標 名	単 位	指 標 値			目 標 値	
			12年度	13年度	14年度	18	年度末
1	児童生徒の学力レベル(学習定着度)	%			81.7	83	
2	ボランティアに参加したことがある区民の割合	%		24	21.7	高くする	
3	不登校児童生徒数	人	250	241	200	163	
4	いじめや仲間はずれがなく生活していると感じている子どもの割合	%			73	高くする	
5	区民1人あたりの文化的生活時間 <small>13年度は参考数値</small>	時間		(平日2時間19分 休日3時間41分)	平日1時間31分 休日1時間58分	長くする	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 1 平成13年度までは相対評価で調査が行われていたが、平成14年度から新教育課程が実施されたことに伴い、一人一人の学習の理解の達成度を重視する絶対評価に変わったため、数値は14年度からのものである。今後は、学習指導方法の創意工夫により基礎的・基本的な学力の定着に向けた取り組みを行っているので、上昇するものと思われる。
- 2 13年度に対して約2%減少したが、今後は大人の学びを実践につなげる「杉並コミュニティカレッジ」などの施策を通してボランティア活動に参加する区民の増加が期待される。
- 3 昨年の政策評価で17年度末までの目標値として、200人を挙げていたが、1年で達成することが出来た。この間の学校での取り組みだけでなく、スクールカウンセラー、ふれあいフレンド等の不登校対策事業などにより減少傾向にある。短期的目標として今後も各年、5%づつは減少させていき、長期的目標としては、0人をめざす。
- 4 評価にあたっては、今後継続した調査によって傾向を把握していく必要がある。
- 5 14年度は設問内容に一部変更があったため、13年度は参考数値として掲載する。14年度の調査では平日と休日で27分の開きがあるが、文化的生活時間は休日の方が長く取れることがわかる。評価にあたっては、今後の調査の推移を見て状況の分析を行っていく必要がある。

チェックリストの状況(参考)

番号	名 称	関連データ(他自治体との比較等)	
	定 義		
1	児童生徒の学力レベル(学習定着度)	[14年度]	
	中学校第3学年第2学期の評定3以上の者の割合 (国語・数学・英語) (都教育庁:東京都高等学校等入学選抜にかかわる成績一覧表調査 より)	杉並区 81.7%	東京都 77.7%
2	ボランティアに参加したことがある区民の割合	『あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか』に「現在活動している」「以前活動をしていたが現在はしていない」と回答した人の割合 [14年度]	
	区民アンケートで、『あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか』に「現在活動している」「以前活動をしていたが現在はしていない」と回答した人の割合 (杉並区区民意向調査より)	杉並区 21.7%	東京都 28.5%
3	不登校児童生徒数	不登校児童・生徒(年度に30日以上欠席)の出現率 [14年度]	
	年度に30日以上欠席(病気等の欠席を除く)した児童生徒の人数 (文部科学省:児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 より)	杉並区 小学校 0.25% 中学生 2.25%	東京都 小学生 0.38% 中学生 3.22%
4	いじめや仲間はずれがなく生活していると感じている子どもの割合	1校あたりのいじめ発生件数 [14年度]	
	済美教育研究所で取りまとめた、学校評価アンケートによる。小学校『いじめや仲間はずれなどがなく、友達どうし仲良く生活していますか』、中学校『いじめなどがなく、相手の立場を尊重して互いに協力しあって生活していますか』との問いに対しての評価平均を%で表した	杉並区 小学生 0.16件 中学生 1.13件	東京都 小学生 0.26件 中学生 1.18件
5	区民1人あたりの文化的な生活時間		
	区民アンケートで、『あなたが取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動はありますか』に、「趣味・娯楽活動」「教養・学習活動」「スポーツ活動」と回答した人の1日にかかるだいたいの時間の平均値(平日・休日別) (杉並区区民意向調査 より)		
特記事項			